

【アンケート内容】

1. 令和3年度から事業所でのBCP(業務継続計画)策定が義務化されたことについて、あてはまるものをひとつ選んでください。
  - ・BCPについて、既に策定済み
  - ・BCPについて、今年度策定する予定
  - ・BCPを策定する予定だが、どうしたらよいか困っている
  - ・BCPについて、ほとんど知らない
2. 災害時に備え、普段から準備していることで、当てはまるものを選んでください。(複数回答可)
  - ・緊急時の連絡先、避難所の情報共有を行いケアプランに記載している
  - ・安否確認の連絡先として、利用者や家族の連絡先を平時から確認している
  - ・利用者の安否確認優先順位等の一覧表を作っている
  - ・非常持ち出しなど物品の確認をしている
  - ・パソコンが使えなくなることを想定して紙媒体で利用者台帳等を更新、もしくはクラウド上で管理している
  - ・職員間の連絡方法を取り決めている
3. 災害対策で、普段の業務の中で不安に感じたことや困ったことがあればお書きください。
4. 上記のほか、準備していること、心掛けていることがあれば記入してください。

集計結果(回答数 78人) 集計日:2021年7月19日

| アンケート1 |                |                   |                            |                  | 合計 |
|--------|----------------|-------------------|----------------------------|------------------|----|
| 内容     | BCPについて、既に策定済み | BCPについて、今年度策定する予定 | BCPを策定する予定だが、どうしたらよいか困っている | BCPについて、ほとんど知らない |    |
| 回答数    | 5              | 44                | 25                         | 4                | 78 |

| アンケート2 |                                 |                                   |                         |                    |  |                  | 合計  |
|--------|---------------------------------|-----------------------------------|-------------------------|--------------------|--|------------------|-----|
| 回答     | 緊急時の連絡先、避難所の情報共有を行いケアプランに記載している | 安否確認の連絡先として、利用者や家族の連絡先を平時から確認している | 利用者の安否確認優先順位等の一覧表を作っている | 非常持ち出しなど物品の確認をしている | パソコンが使えなくなることを想定して紙媒体で利用者台帳等を更新、もしくはクラウド上で管理している | 職員間の連絡方法を取り決めている |     |
| 回答数    | 15                              | 74                                | 13                      | 11                 | 27   | 58               | 198 |

| クロス集計項目 アンケート1 |  |     |                 |                    |                            |                   |
|----------------|--|-----|-----------------|--------------------|----------------------------|-------------------|
|                | 回答   | 回答数 | BCPIについて、既に策定済み | BCPIについて、今年度策定する予定 | BCPを策定する予定だが、どうしたらよいか困っている | BCPIについて、ほとんど知らない |
|                | 回答   | 回答数 | 14              | 117                | 61                         | 6                 |
| アンケート2         | 緊急時の連絡先、避難所の情報共有を行いケアプランに記載している                  | 15  | 0               | 10                 | 5                          | 0                 |
|                | 安否確認の連絡先として、利用者や家族の連絡先を平時から確認している                | 74  | 5               | 42                 | 25                         | 2                 |
|                | 利用者の安否確認優先順位等の一覧表を作っている                          | 13  | 0               | 9                  | 4                          | 0                 |
|                | 非常持ち出しなど物品の確認をしている                               | 11  | 2               | 7                  | 2                          | 0                 |
|                | パソコンが使えなくなることを想定して紙媒体で利用者台帳等を更新、もしくはクラウド上で管理している | 27  | 4               | 15                 | 7                          | 1                 |
|                | 職員間の連絡方法を取り決めている                                 | 58  | 3               | 34                 | 18                         | 3                 |

### アンケート3

#### 【平時からの対応】

- ・災害時にどう動いて良いか、平時から対策をしておくべきだと感じた。
- ・独居の方など優先順位を決めて、安否確認やできることをしていくしかない。一人で対応するのに限界があると感じている。
- ・先日の豪雨の際に適切なマニュアル作成されてないことから初動が後手後手になった。そのため、早急に対策を考えるように思った。
- ・寝たきりの方が避難できる福祉避難所など、どのような流れで利用したら良いのか平時からシャミレーションができると良い。
- ・地域住民との連携を図り協力体制を取らなければいけないが、家の内情を知られたくないという地域性があり困っている
- ・視覚障害の方や独居の方でご自分での避難が難しい方はどのように対応したらよいか常に考えている。
- ・ケアマネ協会主催の災害ケアマネジメントの研修に参加したが、ケアマネだけで災害に立ち向かう事は不可能。行政や地域、家族を巻き込んだ日頃からのシュミレーションや研修を行っていく事が必要ではないか。今回の大雨で市内の多くのデイサービスが休業し、デイサービスで担って頂いている業務をケアマネが代行した事もあった。(安否確認、昼食の手配、昼の薬の服薬介助など)もしもヘルパーや訪問看護が訪問できない状況であれば、どうなるのか。結局のところ、何かあればケアマネが動かなければならないという現状になっている。
- ・独居の方の避難が必要な場合安全上ケアマネが支援することが困難であることが想定しそのような場合どうしたらいいのか。また自宅で待機される場合も食事、服薬など困る場合もどうしたらいいのか。
- ・介護度の高い方の避難方法や高齢者世帯の方の避難について、地域との連携がはかれるか心配しています。
- ・ひとり暮らしの方の災害対策に関して、家族と相談し具体的な対処方法を備えておかなければいけないが出来ていない事に不安を感じている。
- ・実際の緊急時の動きのイメージがつかない感じが強い。地域の中でお互いに共助できる関係が作られるような支援が、市又は包括と連携して作っていければよいと思うが具体的な進め方がわからず困っています。
- ・自主避難場所の把握や公の避難所の確認。避難所の環境(洋式トイレ、横になることができる等)を確認しにくく本人に情報提供を行い難かった。
- ・認知症の方への対応。誰が判断するか。地域住民との共有が行き届いていない点。
- ・訪問先での災害時の対応策。独居、重度(障害もある方)の利用者で電話連絡が出来ない方、認知症で説明が入りにくい方等の災害時の避難対策

#### 【災害が予想される場合の対応】

- ・どのタイミングで避難しなければならないのか判断しかねる。認知症や身体が不自由な方は避難所で過ごすことはリスクがあるので、どう支援した方が良いのか悩む。
- ・避難指示が出た時の判断と移動手段／電話連絡がつかない利用者さんの安否確認の手段／デイサービス休止時のサービス調整
- ・7月7日の大雨警戒レベル4の発令で、デイサービスが休業となり、代替えとしてヘルパー利用の調整を行いました。今回は何とか調整出来たが、それが出来なかった場合は私が訪問せざるを得ないのか、不安に思いました。
- ・どの状況で避難を勧めたらいいか迷う。避難所での環境に適應できるか？介助などはどうすればいいか？支援者としても不安に感じている。
- ・ベットが必要な方や階段昇降ができないために、指定避難場所を選択されない方がいる。老々介護、認認介護のため避難を理解できない方がいる。

#### 【災害発生時の対応】

- ・災害が起こった時にケアマネがどこまで動かないといけないのか、自分や家族の事も不安に感じている
- ・要介護者の避難所の誘導方法
- ・独居で親族が県外在住という方が多い。安否確認も含めて全てを依頼させるとどうしようと思う。
- ・避難して頂くにも、車いすの方などの移動手段がない(タクシーもつかまらない)場合はどうしたらいいのか。水害で垂直避難したくても2階にあがることもできない。場合によっては訪問支援も難しいと思われる。この度の大雨でも電話での安否確認くらいしか出来なかった。
- ・独居で認知症がある方への災害時の対応。
- ・実際に災害が起こった時に、どのような行動をとれば良いかわからない。また、自分や家族のことが心配で利用者のことまで気にかけることが出来るのかな？と不安に思う。
- ・自宅にすることができなくなった場合、受け入れ先があるのか、あったとしてもどうやって移動するのか心配。
- ・災害が起こった際に、自分達も被災した場合どこまでの支援ができるか不安です。

- ・職場と自宅の距離があり、有事の際は、駆け付けられるかが心配。自分も被災する可能性がある。
- ・独居で身体的に不自由な方はどうすればよいのか(本人はなんとかかなと思っている)
- ・独居の方の対応について、誰がどう動くのか。
- ・1人事業所の為ケアマネ自身が被災したり動けない事情ができた時にどのように対応したらよいか困っている。
- ・自身が被災した場合、事業所としての災害対策が行えるか？避難指示が出ても「大丈夫」と言われる方へのアプローチ
- ・利用者様の指定避難所の確認はしますが、そこまでの移動が課題のひとつです。
- ・避難する場合の介助について 協力体制について

#### 【その他】

- ・ありとあらゆる災害におけるイレギュラーに、どう対応するのが課題。
- ・自分自身が被災した時の対応
- ・福祉避難所の動き…対象者はどんな方か
- ・災害時のケアマネとしての業務遂行
- ・災害時、自身の安全確保が確認できた上で行動できるように土地勘も重要だと感じた。避難所がどこなのか把握できてないため確認不足であることを認識した。
- ・今回の大雨災害で避難所の情報が既出の情報とリアルタイムの情報とで混乱した。
- ・自分自身が被災した場合のフォロー体制をつくれないうこと。本当に実現できるBCPか？
- ・防災マップをわかりやすくしてほしい。災害時の支援体制が利用者によってそれぞれ違う(地域住民や別居の家族等)。
- ・災害時に実際に、避難訓練として大規模想定が難しい
- ・災害時の対応について改めて考え直しました。
- ・自分や家族の身を守ることと利用者の安全確保の手順に葛藤が生じる不安がある。
- ・土石流警戒区域なので、何かあれば常に心配している。

#### アンケート4

##### 【平時からの対応】

- ・利用者台帳は毎月更新するようにしている。訪問時に、避難場所を確認するようにしている。
- ・利用者さんのご近所や民生委員さんなどの協力が欠かせないので、地域のつながりの把握が欠かせないと思っている。
- ・利用者台帳は毎月更新するようにしている。訪問時に、避難場所を確認するようにしている。
- ・避難所を確認するようにしている。
- ・必要な方には緊急連絡先の一覧を作成しお渡ししている。
- ・特に独居の方とは、こまめに連絡をとり、近隣の助けてくださる方を確認している。
- ・利用者や家族の連絡先の確認
- ・要援護者(特に独居の方)についての民生委員や自治会との情報共有／地域での災害対策についての勉強会
- ・自分の居住地や職場が被災して出社できなくても、業務用携帯電話にあらかじめ登録したお客様に連絡がとれるようにしている。
- ・避難所への移動方法や持ちもの確認、何より平時の準備が何より必要と感じている。
- ・今年に入り、災害時の避難場所を確認するようにしている。
- ・日頃から防災について地域の情報収集したり、その事を訪問時に利用者に見つけて防災意識を確認している。
- ・ご利用者様の地域特性や避難環境など、訪問時やモニタリング、アセスメント時に確認をしていく。明確な保存をしていく。
- ・利用者の緊急連絡先の確保
- ・系列のデイサービス利用者の場合はデイサービス生活相談員と日頃から連携を図り災害時の対応について話し合っている。
- ・ハザードマップを利用して避難先の確認をしている。
- ・避難所の情報共有を利用者さんで行い基本情報にのせるようにしている。

- ・地域の避難場所。河川など自宅周囲の危険個所の把握
- ・初回訪問から、緊急時の連絡先や住居に近い親族の連絡先を確認するようにしている。
- ・関係機関との情報共有は常に欠かさないようにしています。(御家族や協力可能な近隣住民もあわせて)
- ・平時の訪問時から災害が起こったらどうするのか等話題に出して、意向の確認をすすめる
- ・定期的に避難場所や移動手段などを利用者と確認をしている。
- ・家族や地域の方との連携
- ・避難所の確認は怠らないようにしている。ただいざ災害がおき、避難所に集まったとしても、その方の生活が最低限確保できるのか不安に感じる。
- ・独居や高齢者世帯の確認
- ・複合施設、公民館や行政支所との連携(協力できることは協力する姿勢)

#### 【災害が予想される場合の対応】

- ・最新の情報を所内で、逐一確認するようにしている。
- ・独居で認知症のかたはパニックにもなれやすいので、早めに連絡を取るようにしている。
- ・特に独居世帯、高齢者世帯の安否確認
- ・今年の大雪、今回の大雨、昨年からのコロナへの対応。県外在住でずっと帰省されていない子供さんにはサービス利用中止になった場合に、どのような対応をしたのかを伝えるようにしていて、今後の生活をどのように支えていくのかをイメージしてもらえようと思っている。\* 災害対策以外のテーマについては、意見交換は行われませんか？他にも意見交換しないといけないテーマがいろいろあると思うのですが。
- ・独居の人などは早めに避難できるように連絡をとったり、ショートを調整したりしている。

#### 【災害発生時の対応】

- ・刻々と変わる、災害状況の把握。
- ・災害が起こった時は自分の家族の事も段取りをつけて、利用者の安否も確認していかなければならないが、自分に同時進行でできるのかと考える。

#### 【その他】

- ・連絡方法として、常に携帯電話やメールを確認することが習慣になっていますが、それが使用できなくなった場合には、どのように行動すべきなのか、わからないのが現状です。
- ・日頃からの本人、家族との信頼構築があった上での情報確認を行いたい。また、避難所の確認も必要。今回の大雨特別警報で身近な存在になりました。
- ・できる範囲で近所の方の支援を考えるようにしているが、現実的には難しい。
- ・個人情報の管理
- ・紙媒体で基本情報を集約しようと検討しているが、保管先の選定が進まない。
- ・母体の老健や地域の方との連携が必要と思っている。
- ・日頃のモニタリングで災害について、利用者、家族と話をすること。※避難が必要な場面にあつたらなど
- ・非常食